

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

平成30年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

平成31年3月13日(水)発行 第 45 号 発行責任者:高橋 弘悦

卒業おめでとう！

生徒たちが、新たなステージに進みます。

頑張れ！ 柳学中ブランド！！

Life must improve as it takes its course. Your youth you spend in preparation because the best things are never in the past, but in the future.

人生は進歩です 若い時代は準備のときであり、最上のものは過去にではなく将来にあります



数年前の朝の連続テレビ小説に「花子とアン」というドラマがありました。

主人公の花子は貧しい農家の生まれですが、東洋英和女学校に給費生として編入学をします。やがて花子は英語に興味を持ち、情熱を持って学習、卒業の日を迎えます。その時の校長の式辞の一節です。その時以来、この時期になると必ず心に浮かびます。

「『中学校の時が一番よかった、楽しかった』と子どもたちに思ってもらいたい」というのは、子どもの長い人生を考えると狭い見方であり、そのようなやや思い上がった考えをいつの間にか持っていた自分が恥ずかしくなったものです。

子どもたちの将来の進歩を願い、そのために今をどうするか考えることの大切さに改めて気づかされ、礎となる学校を作り上げたいと、心に深く刻まれた言葉となりました。

自分たちが築き上げた新しい歴史…。美しい思い出としてこれからも折に触れてここでの生活を思い出して欲しいとは思いますが、ここでの生活をよりどころとして、最上の『幸せ』を求め続けて欲しいと思います。卒業本当におめでとうございます。

平成三十年度 卒業式 式 辞

平成31年3月13日（水）

吹き渡る風にも早春の息吹を感じる今日の佳き日、町長様をはじめ、多数のご来賓、保護者の皆さまのご臨席のもと、柳津町立会津柳津学園中学校 第一回目となります卒業証書授与式をこのように盛大に挙行できますことは、卒業生はもとより、本校職員、生徒一同、誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました第一回卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、卒業生の保護者の皆さまにも、心からお祝いを申し上げます。

昨年四月に柳津中学校と西山中学校が統合し、教育目標「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」のもと、会津柳津学園中学校が誕生しました。卒業生の皆さんにとっては、入学した学校と卒業する学校が異なるという大きな変化に、不安と期待を感じた生活ではなかったでしょうか。

何をするにも、「第一回」、「初めての」のことばが付き、自分たちが「歴史を作る」というやりがいを感じながらも、その重みに身もすくむ思いもしたのではないかと思います。

会津柳津学園中学校のこの一年は、まさに、新設中学校という「不安定」な状況を「安定」させようと、生徒と職員が一丸となって学校づくりに奮闘した日々でした。

そんな中、第一期生である皆さんの活躍は素晴らしいものでした。新しい歴史の先駆者として、学習面、部活動面、学校行事など、次々と新しいことに挑戦し、会津柳津学園中学校の土台を創ってくれました。

中体連大会や各種大会での優勝、準優勝は、会津柳津学園中学校の名を一気に広めてくれるものでした。学校行事においては、「柳輝祭」や校内駅伝大会などで三年生としてのリーダーシップを発揮し、新しい行事を次々と成功へと導いてくれました。

「僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る」という高村光太郎の詩の一節が頭に浮かんできます。まさに皆さんは「歴史の創造者」でありました。その努力に心から「ありがとう」という言葉を贈りたいと思います。

さて、卒業に当たり、「旅人と三人の木こり」のお話をします。

旅人が、炎天下に仕事をする三人の木こりと出会います。

旅人は「大きな木を切って何をつくっているのですか」と尋ねました。

一人目の木こりは「仕事をしないと親方に叱られるので」と答えました。

二人目の木こりは「ご飯を食べるお金が稼げませんので」と答えました。

三人目の木こりは「人々が祈り、安らぐ場をつくっているのです」と答えました。

この旅人が出会った木こりたちのように、同じ仕事であっても考え方が異なれば、生き方が変わってきます。そして、三人目の木こりのように誰かのために貢献する思いで仕事ができることはなんと幸せなのだろうか、と思います。

古代ギリシャの哲学者であるソクラテスは「最も大切にしなければならぬことは、善く生きること」と述べています。「善く生きること」とは「善い自分を創る」ということに他なりません。魂を磨き続けるという意味です。私たちが生まれてきた意味がそこにあります。

皆さんは、やがて社会人として、これからの日本や世界の担い手になっていく人材です。生涯にわたり、志を持ち、学び続け、磨き続け、三人目の木こりのような善い自分を作ってください。そして、教育目標にあるように「社会に貢献する人材」となって活躍することを心から祈っています。

保護者の皆さま方には、新設中学校としての本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、PTA活動等の温かいご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。また、ご来賓の皆さまにはご多忙のなか、ご臨席を賜り、卒業生に温かい激励の言葉をかけていただき、厚く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業は、終わりではなく新たな出発です。皆さんのこれからの努力が、未来を創造し、地域に元気を与えることにつながることを切に願っています。そして、後に続く後輩の指針となるよう、第一期生の自覚を持って力強く歩んでください。会津柳津学園中学校は、これからも歴史を重ねていきます。皆さんが、力を合わせて土台を創った会津柳津学園中学校をこれからも温かく見守って欲しいと思います。

希望に満ちた出発の日にあたり、羽ばたいて行く皆さんの未来に幸多かれと祈り、「式辞」といたします。

